

【だんないで子育てフェスタ2019】の報告

1. 目的

近江八幡市子ども・子育て支援事業計画に沿って、すべての子どもの健やかな育ちと子育てを支援し、「子どもの最善の利益」が実現されるまちをめざし、子育て不安の解消や地域の繋がりを醸成を図るため、『だんないで子育てフェスタ2019』を実施した。

2. 日時・会場 令和元年11月23日（祝・土） 10時～15時
総合福祉センター「ひまわり館」

3. 対象 妊娠期～子育て中の親子、子育てに関心のある方

4. 目標と企画

目標1 相談・情報提供にて、子育ての不安を解消

- ・相談の場等の情報提供
- ・子育て世代包括支援センター、食育、子育て案内

目標2 親子が子育て支援の団体を知るとともに、支援団体の繋がりを醸成

- ・ビジターさんと遊ぼう（ホームスタートほんわか）
- ・もうすぐクリスマス♪サンタの飾りを作ろう！（子育て応援隊「Mom's fun」）
- ・パパ・ママと楽しく遊ぼう！（まちづくり協議会（子育て支援担当））
- ・おもちゃ病院（地域ボランティア おもちゃ病院）
- ・新聞スリッパ作り&アイマスク体験（社会福祉協議会）
- ・ファミリーサポートセンターの利用説明&登録会（すくすく）
- ・子育て支援団体・子育てサークルのポスター展示

目標3 仕事と子育ての両立実現を啓発（特に、父親・母親が共に子育てをする意識醸成）

- ・木のおもちゃで遊ぼう（絵本と木のおもちゃ館「ぴっぴ」）
- ・親子ふれあいあそび！（ほんわかの家、楽育のたね主宰 中島みちるさん）
- ・寝ぞうアート「おべんとうバス」（市内子どもセンター）
- ・親子で手形♪成長記念（市内子どもセンター）
- ・グルテンフリーの簡単おやつづくり教室！（tabekurArt 主宰 ちゅうちゃん）

目標4 ①障がい者理解を深め、障がい児と健常児がともに育ちあう環境づくり。

- ・聴導犬ポッキーがお仕事をするよ！（びわこみみの里）
- ・によきによき人形&わりばしパチンコを作って遊ぼう！（こどもサポート教室きらり）
- ・点字ってなあに？点字を体験しよう！（ひむれ点訳グループ）
- ・作業所のお菓子・パンの販売（みみの里、ディワークス、おうみや）

目標5 地域型利用者支援事業のオープニング告知

- ・親子ふれあひあそび！（ほんわかの家）
- ・よさこい演舞（チーム飛龍）

5. 報告

(1) 来場者数（玄関前受付の記録）

組数171組 / 大人261人（父、73人、祖父母28人）、子ども246人

※H30年度実績 129組／大人180人（父41人、祖父母8人）、子ども177人

※H29年度実績 123組／大人160人（父28人、祖父母11人）、子ども159人

※H28年度実績 組数130組／大人170人（父38人、祖父母8人）、子ども173人

(2) 各ブースでの受付数

AM	PM	企画名	組数	※参考値	
				大人	子ども
●		木のおもちゃで遊ぼう	80組	110人	98人
	●	聴導犬ポッキーがお仕事するよ！	23組	33人	31人
	●	親子ふれあひあそび！ 0・1歳	25組	35人	25人
	●	集中力UP！親子運動あそび 2歳～就学前	16組	22人	20人
●		ビジターさんと遊ぼう	46組	65人	64人
●	●	によきによき人形&わりばしパチンコ作り	80組	100人	102人
	●	もうすぐXmas♪サンタの飾りを作ろう！	26組	35人	38人
●	●	グルテンフリーの簡単おやつづくり教室	17組	17人	23人
●	●	体験工房 親子で手形♪成長記念	90組	138人	134人
●	●	寝ぞうアート(おべんとうバス)	70組	105人	88人
●		パパ・ママと楽しく遊ぼう！	49組	59人	67人
	●	点字ってなあに？点字を体験しよう！	13組	13人	14人
	●	新聞スリッパ作り&アイマスク体験	11組	13人	13人
●		ファミリーサポートセンター 利用説明&登録会	5組		
●	●	おもちゃ病院	55組		

(3) アンケートの結果 (回収数 118 枚 69%) ※H30 年度実績 88 枚、H29 年度実績 99 枚

① 在住区域

市内 110人	八幡 24、島 2、沖島 0、岡山 5、金田 31、桐原 20、 馬淵 1、北里 6、武佐 6、安土 10、老蘇 5
県内 8人 県外 0人	

② 来場者 (アンケート回答者) の家族構成

大人 184人	<参考：祖父母 16、父 54、母 113>	子ども 192人
---------	------------------------	----------

※H30 年度実績 大人 119人、子ども 121人

③ フェスタ情報を得た媒体

(複数回答)

市広報紙「10・11月号」(46)	チラシ (50)	ロコミ (23)	ホームページ (5)
アプリ (6)	フェイスブック (3)		

※今回から導入のアプリは5%程度。チラシ 38% (昨年 40%)。ロコミ 9%→17%に増えた。

④ 参加したイベント

(複数回答)

▶ オープニング「ハグしちゃおう！」(16)、	▶ 木のおもちゃで遊ぼう (39)、
▶ 聴導犬ポッキーがお仕事するよ！(9)	▶ 親子ふれあいあそび (27)
▶ いろんな展示コーナー (15)、	▶ よきによき人形&わりばしパチンコ作り (23)
▶ ビジターさんと遊ぼう (19)、	▶ もうすぐ Xmas♪サンタの飾りを作ろう！(10)
▶ パパ・ママと楽しく遊ぼう！(21)、	
▶ 体験工房「親子で手形」(59)、	▶ 寝ぞうアート (40)、
▶ パン・お菓子の販売 (20)	▶ よさこい演舞 (11)
▶ 点字ってなあに？(1)、	▶ 新聞スリッパ&アイマスク体験 (3)
▶ おもちゃ病院 (21)	▶ ファミサポ利用説明&登録会 (3)、

(4) 当日の様子 (写真)



▲オープニング



▲木のおもちゃで遊ぼう



▲聴導犬ポッキー



▲親子ふれあひあそび



▲によきによき人形づくり



▲ビジターさんと一緒に遊ぼう



▲サンタさんを作ろう



▲パパママとあそぼう



▲新聞スリッパ・点字



▲よさこい演舞



▲体験工房「親子で手形」



▲寝ぞうアート



▲おやつづくり



▲おもちゃ病院



▲ファミサポ利用説明・登録会



▲パン・お菓子の販売



▲記念品



▲総合受付



▲展示（子育て支援団体）



▲展示（児童虐待）



▲飲食スペース

6. フェスタ後の所見

(1) 例年より大幅に来場者が増えました

- ・初めて開催した4年前から毎年130組程度に参加いただいておりますが、今年の来場者数は171組と昨年より大幅に増えました。
- ・参加者が大きく増えた理由は、今回内容を変更した下記の点が良い方向に作用したものと考えられます。①開催時期を夏から秋に変更したこと。②対象年齢を0歳～小学生までに広げたこと。③あそびのブースを増やし多種多様な内容にしたこと。④障がい分野の内容を新たに取り入れたこと。⑤お昼休みも会場で過ごして頂けるよう作業所のパン・お菓子の販売を行ったこと。⑥昼休みの時間帯によさこいの演舞を行い、1日を通して切れ目なく楽しむことができたこと。⑦市広報に10月11月と2ヶ月連続掲載、また市内情報誌「オウティ」にもイベント情報を掲載したこと。等が考えられます。
- ・子どもセンターや子育て支援センターの利用者も数多く来場されていたことから、センター利用者への案内（声かけ）の効果が高く、当課主催のBPプログラムや窓口対応時にも積極的な案内（チラシ配布・声かけ）を行ったことの効果が高いと考えられます。
- ・幼稚園や保育園等へのチラシ配布数は昨年と同様としましたが（各園ポスター2枚、配布用設置チラシ10～20枚程度）、チラシからイベント情報を得た方が最も多く、目に留まる魅力あるチラシ、手に取り読んでいただけるチラシの重要性が感じられました。
- ・口コミによる参加者が、昨年度の9%から17%へ大幅に増えました。時代とともに普及するSNS等、保護者間の情報共有の効果の大きさが感じられます。
- ・一方で、今年度から新規導入した「子育てアプリ」は全体の5%にとどまりました。アプリ自体の周知を積極的に行うことにより、タイムリーな情報源として利用されることを今後期待したいと考えます。

(2) 父親の参加が増えました

- ・ 昨年よりも父親の参加が大幅に増加しました。昨年度41名⇒今年度73名。親子一緒に体を動かして楽しめるコーナーやおもちゃづくり等の体験コーナー、また、自由に遊べるコーナーなど、あらゆるコーナーで父親が積極的に子どもと関わる姿がたくさん見受けられました。
- ・ 父親と子どもだけで参加した親子連れが10組(6%)、両親揃っての参加が63組(37%)ありました。父親と母親が共に子育てをする意識の高まりが感じられ、良い傾向にあります。

(3) 午前中の参加が多くありました

- ・ 来場者数は午前126組、午後45組と、7割以上が午前中に参加されました。これは、昨年と同様の傾向のため、午前中に活動される親子が多いことが分かります。特に親子に伝えたい事項や啓発したい内容については、午前の時間帯にて企画する方が効果的であると考えられます。

(4) 1日を通して楽しんでいただくことができました

- ・ 各あそびブースは例年通りお昼休みを1時間とりましたが、作業所のパン販売等を行い、お昼休みの時間によさこい演舞を企画したことで、途切れることなく1日楽しんでいただくことができました。
- ・ 販売ブースのお菓子や昼食をゆったりと食べられる飲食スペースについて、昼食の時間帯のみレストランスペースをお借りしましたが、スタッフから「1日を通してわかりやすく確保しておくよかった」との報告があったことから、改善したいと考えます。

(5) 今後の展開

- ・ 今回、子どもセンターなど行政による企画に加え、子育て支援団体等による企画を合同で実施することができました。このフェスタが、子育て支援団体の活動と親子が繋がるきっかけになったとともに、子育て支援団体同士も繋がるきっかけになりました。
- ・ このようなフェスタの場において、行政・民間・ボランティアが連携しながら親子向けの活動を展開することがきっかけになって、地域社会全体で子育て支援に取り組む機運が醸成されていくのではないかと考えます。